

テクノロジー諮問委員会（第 6 回）

議事要旨

日時：2017 年 6 月 6 日 8:00-9:30

場所：組織委員会虎ノ門オフィス役員会議室

議論内容（委員の主な意見）

【大会のソフトレガシーとしての CRM データベースについて】

・CRM 基盤について、最近では銀行でも API を解放する形なので、オリンピック・パラリンピックにも導入できるのではないかと。オリンピック・パラリンピックの App Store のようなものがあっても面白いと思う。

・2012 年のロンドン大会のときにスポーツ振興の団体に顧客情報データベースが引き継がれた。2020 年の東京オリンピック後のビジネスモデルの中でデータ活用は十分考えられる。ビッグデータや AI 等の利活用もできる。

・ボランティアのデータについては、これからの日本を背負って立つような若者の重要な個人情報が多く集約されるので、その取り扱いについて、慎重な議論をしていかなければならないと思う。

・世界に先駆けて超高齢化社会になる日本としては、国民一人ひとりの健康レベル向上のために使っていくのがよいのでは。健康で病気にならないためのケア等、スポーツのみでなく国民一人ひとりの健康を保つことにも力を入れるべき。

・AI 等も現在力を入れている分野なので、単にメールアドレスなどを収集するだけでなくいくつかの可能性をブレインストーミングした上で、情報を集めるべき。名前、住所、メールアドレスを単なるスポーツ振興目的のみに閉ざすべきではない。

・イギリスの状況を見ていると、Sport England という中立性のあるスポーツ振興団体が CRM の情報やデータ等を引き継いで運営が行われているから、サービスが提供できているのではないかと。思う。

これに対して日本の場合は、そのようなシステム全体を移すような受け皿はあまり見当たらず、種目別、地域別等に細分化されるのではないかと。データを引き継いだ後も中立性を守って運営していくということは課題としてある。

スポーツジャパンのような存在の（中立的な）団体が無いのであれば、どのような枠組みやカテゴリーで括ってデータの受け渡しするのかを整理しておくべき。

超高齢化社会を迎えるために、どのように国民の健康、スポーツ、文化的な豊かさに役立っていかについては、日本ならではの戦略が必要。

・現実問題として、主体として顧客情報データベースを引き受けてくれる能力は、団体によってもかなり差があると思う。あきらかにソフトとシステムとレガシーの話なので、最低限のマーケティング能力とシステム運営構築など技術的能力を持っている方々が必要だと思う。データを活用する文化を残すこともレガシーと考える。

・実際に色々な方々とお話すると、色々なデータベースを持ち続けると維持費がかかるということがわかる。それについての投資効果を求められるケースが多い。

・データは劣化が激しいので、取得したデータが継続して活用され、かつ蓄積される仕組みを作らないと、一度ためたデータは3年もたないと思う。それを引き継いでマーケティングする中で情報を蓄積する仕組みが必要。そこはIOCとも相談していただき、データを連携する間口を広くとって欲しい。

【マイナンバーカードの大会での活用について】

・マイナンバーでセキュリティ対策はできそうなのか。

・本人確認をすることによって入場管理をスムーズに行い、セキュリティ対策に資するということは意味のあるものだと考えている。

・セキュリティの入場管理のスペースや設備等、様々な問題のバランス等の中で検討する話だと思うが、ぜひ検討の要素に含めていただきたい。

・様々なチケットの転売防止対策も議論されており、本人確認が一定の効果があるということで、検討の対象になると思っている。データベースをどれだけ劣化させず活用するかということが課題と考える。

・マイナンバーと建築事業者の保険の問題との連携はどのようになっているのか。熟練した建築技術者であることもマイナンバーに紐づけて管理できるように国交省が進めているので、オリンピック・パラリンピックあたりから、それが保険にも反映されるようになれば良いのではないかと思う。

・その先の日本の超高齢社会における健康への支援を考えるのであれば、マイナンバーとの連携は意義があると思う。今後連携も含めた情報収集についてのフレームワークづくりが一番大事だと思う。

・今日の議論の中に色々なヒントがあったと思う。データ活用については仕組みを認めていただけるように、事前の技術設計の中でどのような属性を集めればよいか、どのようなパーミッションが必要か、データ等を活用するためにどのような組織体制が必要か、について予めIOCとも相談しながら良いものを作っていければ良いのではないかと考えている。

【今後の対応】

・次回の開催は9月19日（火）を予定している。